平成２７年第２回大仙市教育委員会臨時会議事録

平成２７年第２回大仙市教育委員会臨時会を、平成２７年７月９日（木）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席者

委　員　風　登　森　一
　　富　樫　佳　典
　　鈴　木　直　樹
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ
教育長　吉　川　正　一

説明員

教育指導部長　　千　田　寿　彦
教育総務課長　　佐　藤　彰　洋
教育指導課長　　九　嶋　正　明
教育総務課参事　田　口　広　龍
教育指導課主任　佐々木　さやか

付議案件

議案第３９号　審査請求に対する裁決について

書　記

教育総務課参事　藤井　吉美

吉川教育長

まずもって、委員の皆様、お忙しい中御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は委員の皆様、全員御出席ですので、会議は成立いたします。書記に藤井参事を指名いたします。よろしくお願いいたします。

ただいまから、平成２７年第２回大仙市教育委員会臨時会を開催いたします。

はじめに、私の方から自己紹介をさせていただきます。この７月１日付けで大仙市の教育長という非常に重い職を仰せつかりました吉川正一と申します。

今年４月でちょうど６０歳になりました。この３月まで県の教育庁に勤めておりました。昭和５５年に当時は山内村なんですが、山内中学校が教員のスタートです。その後、横手地区を１０年、こちらの方を１０年程ということですが、通算しますと小学校が１１年、中学校が１１年、そして県の教育行政が１３年ということで、学校の先生なのか行政マンなのか分からなくなってしまいました。三浦前教育長のような見識と豊かな人間性はございませんが、何とか皆様の力を借りてやっていきたいと思います。できれば、これは全県的にそうですが、少子化ということ、全国的にもトップレベルの少子化が進んでおります。少子化に歯止めがかかるような大仙市の教育を展開できればなと思っております。３年間の任期がございますが、よろしくお願いいたします。

それから御承知のように、新しい教育委員会制度がこの４月からスタートいたしました。一応、この制度によります最初の教育長ということになります。制度の考え方は、三つございます。一つは、教育の政治的中立性と継続性、安定性の確保ということで、今までどおりです。いわゆる政治が介入しないように教育の独立性ということであります。二つ目は、地方教育行政の責任の明確化ということであります。これまでは、教育委員会の責任者は委員長なのか教育長なのかよく分からないということで、それが一本化されて教育長が責任を持つということであります。そして、三つ目が市長との連携、協議を図るということであります。やっぱり、予算も関係ございますので、連携を図っていかなければならないと思います。こういうことで、非常に責任の重い職務ではございますが、皆様からの特にレイマンコントロールの一層の発揮ということで、私とか事務局の教育行政をしっかりとチェックしていただくということで、忌憚のない御助言をよろしくお願い申し上げます。いずれ、皆様方からは多面的な視点からの御意見、御提言をよろしくお願いいたします。

それでは続きまして、同じくこの７月１日付けで教育委員に任命されました風登委員から挨拶を頂戴したいと思います。

風登委員

教育長に倣って簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、農業教員としてスタートいたしました。最初は大曲農業高校、そして金足農業高校、鷹巣農林高校、今の秋田北鷹高校ですね。そして、大曲農業に来たんですが、できればずっと居たかったのですが、７年勤めて平成９年に異動になりまして、県教育庁の高校教育課というところに７年間、その後、中高人事交流ということで西仙北東中学校に３年間、その後、出戻りという形で高校教育課に２年間、その後農業教員とは関係のない六郷高校に２年間、その後総合教育センターに２年間、そして県立博物館に２年間ということで、この３月に退職いたしました。

今は無職で、おいしい野菜作りにチャレンジしております。
　微力ですけれども、こういうような形で大仙市に少しでも貢献できる機会を与えていただいたということに感謝しながら、委員を務めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

吉川教育長
　ありがとうございました。風登委員には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第２項に規定により私の職務代理者に指名させていただきましたので、皆様に御報告させていただきます。こちらも併せてよろしくお願いいたします。
　ここで、委員の皆様から簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。富樫委員から順番にお願いしてよろしいでしょうか。

富樫委員
　富樫と申します。保護者ということで携わらせていただいております。小学校は東大曲小学校、中学校は大曲中学校の学区を担当させていただいております。
　数年前、大曲で母親が子供をという事件がありましたが、当時小学校のＰＴＡ会長をやっておりました。どうやって子供を守るかということでかなり激しいやりとりをしましたが、委員になったのはそうした関係もあってのことかなと思っております。
　子供は３人おりまして、一番下の子が今年高校に入りまして、義務教育を１３年かかって卒業させてほっとしているところですけれども、子供の立場、保護者の立場からいろいろな意見を述べさせていただきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

鈴木委員
　私、鈴木直樹と申します。商売をやっておりまして、就任に際して市長から、あなたは民間の考え方を持って、教育委員会で発言しなさいというようなことを言われました。
なるべく、民間という言い方もおかしいんですが、商売をしていないと出てこないような考えを大事にして発言しようかなと思っております。ＰＴＡ会長も一度やったことがありますけれども、学校には子供の在学中には口出ししたことがありませんでしたので、初心者みたいなものですが、よろしくお願いします。

伊藤委員
　伊藤良と申します。私、開業して２１年目なんですが、開業当時から介護保険制度の創設時からずっと携わってきました。介護保険がらみの仕事を市役所で１５年以上やってきたものですから、守衛さんは私を市役所職員だと思っていたようです。いつも夜遅く裏口から出て行くものですから、そう思われていたようです。それほど、市役所の中での仕事が多かったです。
　大曲医師会の理事をずっと長くやっておりましたけれども、若い方々に譲ってゆっくりしていたところ、医師会の枠からということで、私の前任者は後藤先生でしたけれども、代わりに何とかやってくれということで引き受けました。
　学校に長く入ったのは、私が一番だと思います。大学には１０年入りました。４年と６

年入っております。ちょうど、オイルショックのときに卒業も経験しましたので、非常に厳しい時代を過ごしました。習った記憶はありますが、教えたことは一度もないので、その辺が若干問題ですけれども、教育に関しては非常にお世話になってきたので、できれば恩返しをしたいという意味でやらせていただいております。任期は、もう２年ありますが、よろしくお願いいたします。

竹原委員
　私は、八峰町の生まれで地理的にこちらの方は詳しくなくて、学校の場所も把握しないまま訪問したりして、皆様には御迷惑をおかけしているような気がいたします。
　委員になって２年になりますが、本当に知らないことばかりですけれども、自分の立場で、自分の目線で頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

吉川教育長
　ありがとうございました。皆様と一緒に力を合わせて大仙市の教育をより発展させていきたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。
　それでは、付議案件に入ります。議案第３９号として「審査請求に対する裁決について」御審議いただきますが、個人に関する案件でございますので、秘密会にしたいと思います。皆様、いかがでしょうか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　御異議なしと認め、議案第３９号審査請求に対する裁決については、秘密会といたします。

（以下　秘密会）